

# Kubotek KeyCreator™ V8.51 リリースノート

## ● SIM (センチネル・プロテクタ) ドライバーのインストールについて

コンピュータに初めて KeyCreator をインストールする場合は、CD-ROM を起動して SIM のドライバーをインストールする必要があります。

## ● ライセンス ファイルについて

KeyCreator を実行するには、専用のライセンスファイルが必要になります。KeyCreatorV8.5 のライセンスファイルは、同梱されている「KeyCreator Version8.5 License File」の CD-ROM をセットしてください。自動的に立ち上がりますので、「次へ」を押して実行してください。インストール先の選択で KeyCreatorV8.5 をインストールしたフォルダが指定されているかご確認ください。

バージョンアップのユーザ様は、別紙「KC8.51 へのバージョンアップ手順」をご覧ください。

## ● オンラインヘルプ について【注意事項 その1】

KeyCreator オンラインヘルプ目次ページにある「Release Notes (リリースノート)」は、クボテック社サイト内にある PDF データへリンクしています。インターネット接続環境下では、別ウィンドウで PDF データが表示されます (PDF ファイルを表示させるには、別途 Adobe Reader が必要です)。

また、KeyCreator をインストールした以下のフォルダ内にも PDF データが保存されています。インターネット接続環境下でない場合は、エクスプローラーから以下の PDF ファイルをご覧ください。本ソフトをインストールしたフォルダ内の \Lang\Japanese\kc\_v85\_releasenote.pdf

## ● オンラインヘルプ について【注意事項 その2】

いくつかのヘルプボタンからは、同じ内容のダイアログボックスを持つ別コマンドのオンラインヘルプページが参照されます。これは仕様ですが、混乱のないようご注意ください。

## ● オンラインヘルプ 既知の不具合【1】

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンは現在機能していません。クリックしても自動的にオンラインヘルプウィンドウは開きません。この不具合に該当するコマンドのオンラインヘルプを参照するには、メニューバー：ヘルプ：目次 をクリックし、目的のコマンドを参照してください。

- ・ツール：要素確認：マスプロパティ：オプションダイアログボックス
- ・ツール：要素確認：抜き勾配角

## ● オンラインヘルプ 既知の不具合【2】

次のコマンドのダイアログボックスにあるヘルプボタンからは目的とは違うページが開きます。この不具合に該当するコマンドのオンラインヘルプを参照するには、メニューバー：ヘルプ：目次 をクリックし、目的のコマンドを参照してください。

- ・ツール：部品表：部品表作成
- ・ツール：設定読み込み

## ● 起動時にグラフィックドライバのタイプを選択

起動時にグラフィックドライバのタイプを選択できるようになりました。

回転や拡大操作でのスピードに影響しますが、「ハードウェア OpenGL」や「Direct3D」は、正しい設定の適切なハードウェアでパフォーマンスを改善することが重要です。詳細はヘルプをご覧ください。グラフィックハードウェア (ビデオカード) の中には、プログラムで使用される OpenGL の呼び出しに完全には互換性のないものもあり、プログラムのクラッシュの可能性も含めて表示に問題を引き起こす事がありますが、その場合は「ソフトウェア OpenGL (一般的な PC のドライバ)」をご利用頂くことをお勧めします。

- **レンダリング表示がおかしい時**

ツール：オプション：表示のツリーにあるドライバのタイプを、「ソフトウェア OpenGL」にして KeyCreator を再起動してください。

- **アンチエイリアス処理**

ツール：オプション：表示のツリーにあるドライバのタイプに、アンチエイリアスの項目があります。このアンチエイリアスはエッジのギザギザ感を軽減するためのグラフィック表示処理ができますが、ご使用のグラフィックカードにより、画面の表示がおかしくなる場合があります。ハードウェア OpenGL を選択した状態でアンチエイリアスを使用しないでください。

- **PDF 読込について / 不具合**

Ver8.5 で書き出した 3D PDF を読み込むと「未知の例外が発生」のエラーになります。旧 Ver7.53 で書き出した 3D PDF ファイルは読み込めます。

- **Hoops ウェブページについて / 注意事項**

Hoops ウェブページとストリーム で 2byte-code (日本語などの 2 バイトの情報量で識別できる文字) のファイル名やフォルダ名をサポートしていません。

- **Catia V5 読込について / 注意事項**

Catia V5 読込には制限があり、ファイル名、フォルダ名に日本語などの非 ASCII 文字は対応していません。

- **NC 加工について / 注意事項**

荒加工：周回荒加工、仕上げ加工：周回仕上げ加工は現在動作しません。

- **外部変換の正式対応バ - ジョン**

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイルの対応
ACIS SAT	読込	1.5 – R19 まで	No
	書出		No
CATIA V4	読込	4.1.9 - 4.2.4	No
	書出		No
CATIA V5	読込	V5 R2 ~ V5 R19	Yes
	書出	V5 R6 ~ V5 R19	Yes
DWG/DXF	読込	2007 までの全バージョン	No
	書出	R12 ~ R14, 2000/2002, 2004 ~ 2007	No
IGES	読込	5.3 まで	Yes
	書出	5.3	Yes
Autodesk Inventor	読込のみ	6 ~ 11, 2008 ~ 2009	Yes Ver 11, 2008 ~ 2009
Parasolid	読込	10.0 ~ 20	Yes
	書出	12.0 ~ 20	Yes
Pro/ENGINEER	読込のみ	16 ~ 2001, Wildfire1 ~ 4	Yes
Solidworks	読込のみ	96 ~ 2009	Yes
STEP	読込	AP203, AP214	Yes
	書出		Yes
Unigraphics	読込のみ	11 ~ 18, NX1 ~ 6	Yes
CADL 19	書出のみ	ImageModelor まで	該当せず

上位バージョンで作成した KeyCreator のファイルは、下位バージョンで開くことはできません。

# Kubotek KeyCreator™ V8.51 新機能

各機能、使い方の詳細はオンラインヘルプの「KeyCreator8.5 リリースノート」をご覧ください。

## ファイル/データ変換

- **単位系/許容誤差の変更および追加設定**  
(ファイル：プロパティ：単位系/許容誤差)

単位系/許容誤差タブの多面体化の欄を改良しました。

- **共通読み込みオプション設定**  
(ファイル：開く、読み込み、一括変換)

各読み込みのオプションボタンにある「共通読み込みオプション」に機能が追加されました。

「ローカル座標システム変換オプション」は、CATIA V4, CATIA V5, Pro/E, Unigraphics 変換時にローカル座標をどのように変換するか選択できます。

「外部パートリファレンスのアセンブリ」は、ディレクトリを指定することができます。

### ローカル座標システム変換オプション

- 作図面リストに追加(I)
- 平面として変換(S)
- 変換しない(N)

### アセンブリ読み込みオプション

- 全コンポーネントを現在のパートの要素に平面化(M)
- 内部パートリファレンスのアセンブリ(I)
- 外部パートリファレンスのアセンブリ(O)
  - 元のファイルのディレクトリにファイルを読み込み
  - 選択したディレクトリ外にファイルを読み込み

D:\Program Files\KeyCreator8.5\CKD

## 編集

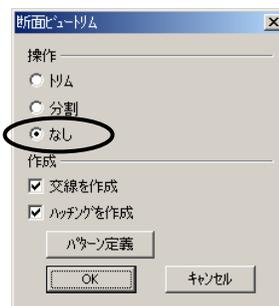
- **コンカレントモード【新コマンド】**  
(編集：システム設定：コンカレントモード)

モデルとレイアウトを同時に表示させる機能です。ツール：オプション：表示にある「モデル/レイアウトのコンカレントモードを有効にする」のチェックボックスの設定でも同様の操作が有効になります。

## 表示

- **断面ビュートリムのオプション設定**  
(表示：断面ビュー、表示：セクション断面)

平面を指定後「トリム」ボタンをクリックすると、断面ビュートリムダイアログが表示されます。トリム、分割以外に「なし」のオプションが追加されました。ソリッドをトリムや分割することなく、断面曲線やハッチングを作成できます。



## 作図

- **点群平面【新コマンド】**  
(作図：平面：点群平面)

本最小二乗法を用いて平面を作成します。測定した点群は数学的平面上に乗らない、ばらつきのある点群であってもかまいません。多点から平均化した平面を作成します。

## 形状修正

- **自動分断機能 第一要素自動【新コマンド】**

(形状修正：要素分断：第一要素自動)

要素を自動分割する機能です。既存のコマンドでは、分断される要素と分断する要素の両方を明確に指示する必要がありますが、自動分断機能は1つの要素を指示するだけで自動的にその要素の一番近くに接する要素を選択します。

- **自動分断機能 両要素自動【新コマンド】**

(形状修正：要素分断：第一要素自動)

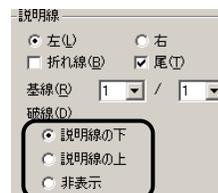
両要素を自動分割する機能です。上記の第一要素自動コマンドと同様に、1つの要素を指示するだけで自動的にその要素の一番近くに接する要素を選択します。

## 寸法

- **溶接記号の設定**

(寸法：製図要素：溶接記号：シンボルのタブ)

溶接記号の基線に付く破線を上側につけるか、下側に付けるか、非表示にするかを選択できます。



- **ハッチング機能とダイアログを改良**

(寸法：ハッチング)

ハッチングのパターンは45°の傾斜がある状態を0°として入力する仕様になりました。また、Xスケール、Yスケール、Xオフセット、Yオフセット、境界のオプションが追加になりました。

- **寸法オプションの設定を改良**

(寸法：設定：オプション)

寸法オプションダイアログのツリー構造、名称を改良しました。

## ツール

- **透明度オプションを追加**

(ツール：オプション：表示)

この設定は、表示のスピードと緻密さをコントロールします。透明度のプロセスでデプスピーリングまたはZソートの使用を選択できます。Zソートがデフォルトです。